

本の ひろば

[月刊] キリスト教書評誌

一般財団法人キリスト教文書センター

1957年7月17日第三種郵便物認可

2017年4月1日発行(毎月一回発行) 第711号

ISSN 0286-7001

出会い・本・人

松居直先生との出会い 藤本朝巳

対談書評

『聖書人物おもしろ図鑑』
旧約編・新約編 大島カ×中野実

本・批評と紹介

澤村雅史 著
福音書記者マタイの正体 中野実

永田竹司 著
見えない希望のもとで 東よしみ

越川弘英 著
新約聖書の学び 大澤香

ロドニー・スターク 著 / 櫻井康人 訳
十字軍とイスラーム世界 関沼耕平

藤掛明 著
人生の後半戦と
メンタルヘルス 藤本 満

竹森満佐一 著
わが主よ、わが神よ 川崎公平

森田美千代 著
真実なるものここにあり 田中かおる

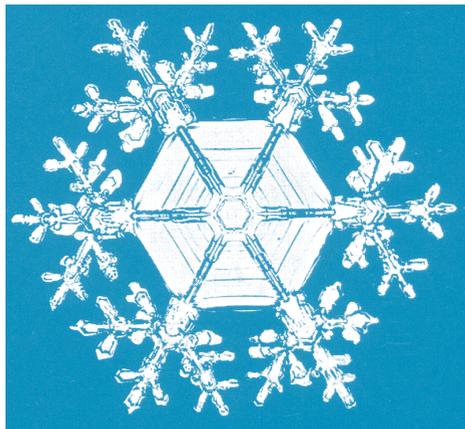
日本キリスト教団出版局 編
説教黙想アレティア特別増刊号
見よ、この方を! 荒瀬牧彦

本屋さんが選んだお勧めの本

既刊案内

書店案内

4 APRIL
2017



文脈化するキリスト教の軌跡

イギリス人宣教師と日本植民地下の台湾基督長老教会

3月17日

三野和恵著

台湾教会史とキャンベル・ムーデイに関する画期的労作。植民地という文脈と格闘した台湾教会と英国人宣教師の出会いと両者の変容。◆A5判・本体7000円

宗教改革の人間群像

3月24日

木ノ脇悦郎著 エラスムスの往復書簡から

メラニヒトン、エコランパディウス、フランソワ1世、ヘンリー8世、エック、ベダ等々
8人との文通を通して浮かび上がる激動の時代状況。◆四六判・本体3000円

内なる生

霊性の涵養とはいかにして可能か

イヴリン・アンダーヒル著／金子麻里訳

20世紀前半に活躍した女性思想家が平易に語った三つの講話。多忙な現代人の魂のケア、祈りと観想、愛と奉仕のあり方をめぐる透徹した考察。◆小B6・本体1800円

日本基督教団戦争責任告白から50年

『時の徴』同人編 その神学的・教会的考察と資料

教団戦争告白は深刻な論争と分裂を生み出したが、新たな連帯をも教会内外に作り出した。戦争告白とは何だったのか。16人の論者が自分史的な回顧を交えつつ神学的に考察する。

【新教コイノーニア33】◆A5判・本体1500円

イエスの譬え話 2

3月24日

山口里子著 いのちをかけて語りかけたメッセージは？

十字架の上で果てたその生において、イエスが伝えようとしたメッセージとは何だったのか。イエスの言葉の核心を取り出す「疑いの解釈学」の最新成果。「10人の乙女たち」など解釈困難とされてきた譬え話が、全く新たな姿を見せる。◆A5判・本体2200円

【好評既刊】イエスの譬え話 1

ガリラヤ民衆が聞いたメッセージを探る

◆A5判・本体2000円



出会う・本・人

松居直先生との出会い——藤本朝巳

私はアメリカ留学時代、ある信徒ご夫妻に出会い、お二人が困難な状況にある子どもたちに絵本の読み聞かせをする様子を知って、児童文学研究を志す決意をしました。帰国して大学院で学び、修士課程を終える年、研究の場を探しあぐねていました。その時、白百合女子大学が児童文学の博士課程を設置すると聞いて門を叩くと、カトリックの女子大が男性の私を受け入れて下さったのでした。

入学後、学部で松居直先生が「絵本」講座を持っておられましたので、私は二年間教えを受けました。当時は絵本の研究方法が確立されていない時代で、私はいかに研究すべきか迷っていました。その時、松居先生が「福音館書店において下さい」と声をかけてくださったのです。以来、私は個人教授を受けることになりました。私は絵本を研究するには絵本の編集者の仕事をすることが必要と思っていました。そこで松居先生のお生まれ、お育ちを聞くことから始め、大戦前後のこと、さらに福音館書店の設立、「母の友」、月刊絵本「こどものとも」の制作など、作品の編集・出版に関わることを詳細に聴き取りました。

松居先生は戦前、「国のために死ぬこと」を教えられていましたが、戦後、時代が変わり、どう生きていけばいいかわからなかったと述べられています。松居先生はその後、入学した同志

社大学の礼拝で「ヨハネによる福音書」の第一章の「初めに言葉があった」という聖句に出会います。「私はその時、光を感じたのです……子どもの本を作るようになった時も、子どもたちが言葉を豊かに体験しなければならぬ……赤ちゃんの時から耳に豊かな言葉を語りかけなければ、言葉の力で生きることができないと思った」という言葉は印象的でした。そうして松居先生は生涯、児童文学と共に生きることになったのでした。

聴き取りは毎回三時間に及ぶものでしたが、その後ずっと続いて二〇年近くが経過しました。その記録は録音されていて、一月に『松居直と絵本づくり』（教文館）という本になりました。まさに聞くことの積み重ねを通してできた本で、福音館設立当時のことから、初期の「こどものとも」一四九冊の制作背景、また翻訳絵本、シリーズ絵本について記されています。松居先生が瀬田貞二、堀内誠一、赤羽末吉、彫刻家の佐藤忠良らと共に制作した絵本作りは戦後日本児童文学界の貴重な資料です。

松居先生との出会いと聴き取りは私のライフワークになりました。それは感謝してもきれいな有難い出会いでした。

（ふじもと・ともみ 〓フェリス女学院大学文学部教授）

聖書が読みたくなる聖書入門

対談

大島 力 × 中野 実

青山学院大学教授

東京神学大学教授

『旧約編』監修者

『新約編』監修者

『旧約編』が2016年キリスト教本屋大賞に輝き、『新約編』も好評発売中の『聖書人物おもしろ図鑑』監修者のお二人に、その魅力をたっぷり語っていただきました。

大島 「聖書人物おもしろ図鑑 旧約編」

（以下『旧約編』を監修し、また完成したものを読んで、とても面白いものができたという感想を持ちました。

たとえば「ヨセフのアップダウン人生」（旧約編 29頁）がスゴクみだいな形で描かれている、こういう図はおそらく初めて見ました。次の見開きでは、ヤコブと妻たちと十二人の息子、孫まで含めて大家族の集合写真のよう

なイラストを金斗鉸きんとうげんさんが描いてくれて、これも印象的でした。イラストでないと表現できないことがよく出ていた、それが読者に受け入れられた大きな理由の一つかなと思っています。

中野 統一王国が南北に分裂して、王様たちがどんどん入れ替わっていくあたりの複雑な事柄などは、聖書の記述だけ読んでいたのでは頭に入らないですが、こうビジュアルにしてももらえるのとて

も身に付くと思います。

大島 旧約聖書はいろいろな物語があって、人物もいっぱい出てきますが、他方で新約聖書は、扱う時代も旧約よりずっと短いし、人物の数も限られていますので、次の『聖書人物おもしろ図鑑 新約編』（以下『新約編』）はどんな本になるのか、これは非常に関心がありました。

中野 たしかに人物の数から言ったら新



『聖書人物おもしろ図鑑 新約編』74頁より

約は旧約より少ないですね。そのぶん、『新約編』は出来事の説明がより出てきていると思います。たとえばパウロの宣教旅行の行程も丁寧に書いてあるし、ヨハネの黙示録のいろいろな幻もすごく詳しく説明している。その点『新約編』のほうが「読み物」的になっっている面もあるかもしれません。

大島 たとえば、ステファノの殉教の場面を描いた絵（『新約編』66頁）の片隅に「この時、みんなの服の番をばんしていたわかもの若者がいた……」（使徒7:58）

と聖書箇所も含めて書いてあって。この若者がのちにどうなっていくか、聖書を読み進めていくとわかってくるということ、面白いですね。

中野 パウロの宣教旅行も使徒言行録をサーッと読むだけでは掴みにくくて、この本のように地名とか事柄を整理しながら、そこに関わる人物を挙げてくれると、次に聖書を読んだ時にさらによく理解できる。人物だけじゃない、ローマやコリントといった手紙の宛先になった地名も、基本的に見開き単位で整理してくれて、なかなか工夫されていますね。それからヨハネの黙示録「七つの教会」「七つの封印」「七つのラッパ」……と展開していく巨大な幻を、実際に要素を取り出し整理して与えられるとわかりやすくなります。

大島 黙示録は昔から西洋絵画でよく取り上げられています。それを踏まえながらも金さんなりのイメージで、さまざまな幻を視覚化してくれていると思います。

中野 ただ聖書のテキストを読むだけだと

そこまでイメージがわかないけど、少しこういう手助けをしてくれると、黙示録が持っている面白さ、そして、その描写によって黙示録が何を言おうとしているのか、ということがまたそこから味わえると思います。

大島 力
(おおしま・ちから)

1953年生まれ。青山学院大学宗教主任・経済学部教授。著書に『預言者の信仰——神から遣わされた人々』、『聖書は何を語るか』（以上、日本キリスト教団出版局）他多数。



自明と思われてきたことを問い直す、優れた研究
澤村雅史著

福音書記者マタイの正体 その執筆意図と自己理解



中野実

ここに紹介する書物は、二〇一六年に広島大学に提出、受理された博士論文（法学教授指導）に基づく、マタイ福音書に関する本格的な研究書である。すでに海外では膨大な数のマタイ研究が出版されてきたが、幸いに日本語でもいくつかの優れたマタイ研究の成果にふれることができる（橋本滋男、小河陽角田信三郎、須藤伊知郎らの研究を参照）。今回さらにもう一つ優れたマタイ研究が加えられたことを心から喜びたい。

本書の研究史上の位置づけについて述べると、方法的にはすでに伝統的とも言える編集史的な研究であり、その点では新しくはない。しかし、マタイ福音書をどのような歴史的文脈において理解するかという点において新しい方向性を示している。初期キリスト教が第二神殿時代ユダヤ教を母体に誕生したことは広く認められている。しかし、いつ、どのようにその母体からの分離が生じたのか、近年活発な議論が続いている。いずれにせよ、もはや（例えば、パウロからキリスト教が始まったという類いの）単純な見方は成り立たない。本書は、そのような議論をふまえて、マタイはなおユダヤ教の壁の内側にいるのか、

それとも外側にいるのかを問いつつ（著者の議論は前者）、マタイの執筆意図および自己理解を解明しようとする試みである。最新の研究を参照しながら議論を進めるので、最新のマタイ研究に関心を持つ者にとって大いに役立つ。

まず第1章で研究史をたどりつつ、本書の立ち位置を確認する。第2章ではマタイの編集の特徴を、主としてマルコ福音書との比較から明らかにする。典型的な編集的手法である。第3章では、マタイの律法理解が主題として取り上げられ、とくに「すべて」という表現に注目しつつ、釈義が展開される。その結果、マタイは、イエスの解釈に基づきつつも、「律法の逐条の実践」を本来的読者に対して求めている、と結論づけられる。第4章では、マタイの「エトノス（民）理解」が取り上げられる。とくにマタイ二・四三の「エトノス」とは一体誰のこと指すのか、という議論を展開し、これまでの様々な議論を紹介しつつ、二一・四三で語られていることは「終末において完成される、義の実践すなわち律法全体の遵守というふさわしい実を結ぶ『新しい民』への再編」なの

だ、と結論づける。第5章では、マタイにおける両義的な異邦人像に注目しつつ、一〇章における異邦人宣教の禁止と二八章における諸民族宣教への派遣との関係、という難問を取り上げる。「新しい神の民の再編」という視点で本書はその説明を試みようとする。第6章では、マタイの「アノミア（不法）」についての発言に注目しつつ、マタイの持っていた切迫した危機感に迫る。それによって、これまでの議論をさらに強化しようとする。

最後の第7章では、これまでの議論を初期キリスト教運動の中に位置づけようとする。マタイの執筆意図を取り上げ、マタイ福音書とマルコ福音書との間に存する主張の隔たりがきわめて大きいことを強調する。その分析に基づいて、例えば、マタイはマルコ福音書を「換骨奪胎」し、「駆逐」しようとしたという説を、著者は肯定的に紹介する（二四七、一六九頁）。また、パウロをマタイ福音書の論敵とさえ見なす（一五二、一

五七頁）。しかし「換骨奪胎」「論敵」などの表現だけが一人歩きを始め、残念ながら十分な論証には至っていないように思われる。この種の議論を展開するには、マルコやパウロに対しても（マタイに対するのと）同等の分析を施す必要があると思われる。同じ問題が「律法の逐条の実践」という主張にも当てはまる。律法の逐条の実践とは何か？ それに関して初期ユダヤ教内ですら一致した見解はなかったのではないか？ 初期ユダヤ教文献にも踏み込んだ研究が続けられることを期待したい。

いずれにせよ、これまで自明と思われていたことを検討し直し、新しい議論を引き起こしてくれた点に、何よりも本書の大きな貢献を見出せる。著者のこれからの成果を期待したい。

（なかの・みのもる＝東京神学大学教授）
（A5判・一九四頁・本体二〇〇〇円＋税・日本キリスト教団出版局）



遠藤周作と志をともし、「日本人とキリスト教」の課題を担った神父の著作選集、第2期好評刊行中！

第2期全5巻

井上洋治著作選集

7 まことの自分を生きる
イエスへの旅

自らの心の友、賢治、芭蕉、西行、良寛を師イエスに紹介する思いで綴る『まことの自分を生きる』と、自身の経験から日本の宣教のあり方を探求した『イエスへの旅』を収録。A5判・266頁・2700円

アメリカの著名な説教者
ウィリモンによる説教集

十字架上の 七つの言葉と 出会う

W.H. ウィリモン 上田好春 訳
主イエスが十字架上で語った言葉のインパクトを、わたしたちは正しく受けとめているだろうか。その言葉一つ一つをとりあげた7編の説教を収録。
四六判・224頁・2,376円

日本キリスト教団出版局
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
☎03-3204-0422 ☎03-3204-0457
E-mail eigyou@bp.uccj.or.jp 《価格8%税込》
<http://bp-uccj.jp>

現代のコンテキストにおいて新しく語られる福音
永田竹司著

見えない希望のもとで
永田竹司説教集



東よしみ

著者の永田竹司氏は、米国で新約聖書学を学んだ後、一九八〇年から三三年間国際基督教大学（ICU）で教鞭を執り、その間、通算二三年間ICU教会の牧師を務めた。評者は一九九七―二〇〇一年にICUで学び、永田氏から新約聖書学の手ほどきを受けたが、当時牧師職を休んでいた氏の説教を聞く機会は限られていた。本書の刊行を心から喜ぶ。

本書には、永田氏の通算三〇〇編に上る説教の中から、焼山満里子氏ら大学と教会両者の教え子が厳選した三一編の説教が、ICUにちなみ国際性、大学、キリスト教というテーマ別に三部に分けて収録されている。第一部「世界に開かれた生」は、聖日説教を主に集め、読者を神、他者、世界に開かれた生へと呼びかける。第二部「自由を与えるキリスト」は、大学のチャペルアワーで学生に語られた奨励を中心にし、聖書との主体的な対話、イエス・キリストとの人格的な出会いへと招く。第三部「さらにまざる道」は、キリスト教の伝統的テーマを扱う聖日説教を主とするもので、愛、十字架、復活などのテーマを独自の言葉で語り直す。

聖書釈義を中心とする少数の説教は、優れた新約聖書学者としての著者の鋭い学問的洞察を示すが、しかし著者の真骨頂がいかなく発揮されるのは、本書の大半を占める主題説教である。その中でも特筆すべきは、現代社会に生きる人間としての問題意識を明確にする説教である。著者は、宗教学の衝突、環境問題、戦争、象徴天皇制、情報社会、管理社会などの様々な問題を取り上げて問いを立て、その問いをもとに聖書テキストを解釈し、その上で聖書の使信がどのように問いに答えるのかを考察する。その際、関連する聖書テキストはもちろん、神学者、哲学者、キリスト教内外の研究者、思想家、評論家との幅広い対話が、縦横無尽に展開される。聖書は現代社会からの問いをもとに読まれることで新しいコンテキストに置かれる。

このような説教が鮮明にするのは、説教とは、現代社会の状況や必要の中から聖書を解釈し、福音を現代に新しく語る営みであるということである。前書きで著者は、聖書テキストそのものを、信仰共同体が新しい必要に迫られつつ多様な諸伝統を解釈するという解釈のダイナミックなプロセスの中

に位置づける。例えば、新約聖書テキストは、旧約聖書テキストやユダヤ教テキスト等を解釈する中で成立し、第二パウロ書簡もパウロ書簡を解釈する中で誕生した。著者は、聖典が閉じられた後も、聖書が新しく解釈を必要とする性格は不変であるとする。本書の説教は、現代の必要の中から聖書テキストを新しく解釈するとともに、聖書の使信を実際に生きる（た）人々の幾多の物語をも語る。これらのエキクメニカルで世界的な広がりをもつ現代のキリスト者の物語は、聖書が証言する神がこの世界において今なお生きて働きつづけるさまを力強く証する。本書の読者は、著者との対話、多くの人々、とりわけ現代のキリスト者との対話を通して、聖書テキストとのさらなる対話、神との出会いへと招かれる。

なお、本書を貫くのは、真実な生き方を求める著者の姿勢である。著者は若い時に接触したキリスト教のあり方に失望し、学問的研究を通してキリスト教とは何かを探求し続けたと

いう。その中で、「見えない希望」、すなわち、見えない神の真意と計画を信頼するキリスト教信仰の視点が、著者を「目に見える日常の現実の偏狭さ」から解放し、「何が人間にとって真実であるか」を問い続ける力と支えとなったという（二三―三三頁）。聖書から人間にとっての真実を読み取ろうとする著者の言葉は、キリスト者だけでなく多くの人の心に響くものであるだろう。

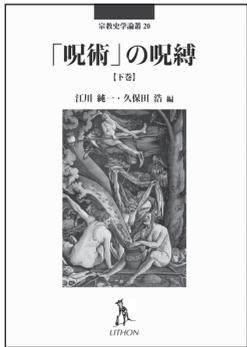
評者が知る教師としての著者は、生き生きと楽しそうに授業をし、自由に深く考えるように学生を励まし、学生との率直な対話を常に歓迎した。評者は本書を読んで、学生時代のように思考を刺激されると同時に、神との関わりの中で自己を見つめ直し、生きる喜びを味わう機会を得た。

本書を教職者、大学関係者に特に勧めたい。また、本書は自我の確立を目指す若者、大学生への特別な贈り物となるだろう。

（あづまよしみ 関西学院大学神学部助教）
（四六判・三二六頁・本体三〇〇円＋税・教文館）



新刊



宗教史学論叢20

「呪術」の呪縛
【下巻】

江川純一・久保田浩 編

●A5判上製 本体4,000円＋税

鶴岡賀雄「呪術」の魅力／渡辺和子メソポタミアにおける「祈祷呪術」と誓約／高井啓介その声はどこから来るのか／山本伸一カバラーにおける神名の技法と魔術の境界／毛利晶古代ローマにおける凱旋の儀式／寺戸淳子「呪術ではない」祭儀―「秘義」としての聖体拝領／西村明呪術としてのキリスト教受容／他7篇を収録。

ISBN978-4-86376-054-7

LITHON [リトン]

〒101-0061 千代田区三崎町2-9-5-402
FAX 03-3238-7638

聖書の世界と現在の読者とをつなぐ導きの書
越川弘英著

新約聖書の学び



大澤 香

聖書を初めて学ぶ人にも自信をもって薦めることのできる新約聖書の良質な概説書・手引き書が、二〇一六年一月二日にキリスト新聞社より刊行された。二〇一四年三月刊行の同著者による『旧約聖書の学び』の姉妹本である。冒頭で著者自身が述べているように、本書は「新約聖書を初めて手にする方々を対象とする入門書」であり、「古代のユダヤ人とユダヤ教の歴史、イエス・キリストの生涯と活動、そして初期キリスト教徒たちの歩みをたどりながら、新約聖書に含まれる諸文書の成立や編集を概説すること」をねらいとしている。そして更に「もうひとつのねらい」として、「新約聖書に描かれた人々の姿、そこに含まれる人間や歴史や社会に対する視点や価値観の紹介を通して、現代に生きる私たちの人生観や世界観を省察すること」が挙げられている。このことから分かるように、本書の構想は単に聖書の「概説」に尽きるものではなく、私たち一人一人が聖書と「対話」をするための「手引き」となることが念頭に置かれている。

このような構想のもと、本書は以下の三部構成で展開される。

〔第一部〕新約聖書の背景
旧約聖書に記された古代イスラエル史を踏まえ、バビロン捕囚後からローマ帝国支配までのユダヤ人共同体の歴史の変遷が俯瞰的に確認される。次に、紀元一世紀のユダヤ人社会の、地理・政治・経済・生活等の社会状況、更に文化・宗教の側面が考察され、この時代のユダヤ教内の宗派の実態や終末思想・黙示思想等の特徴的な思想が確認される。

〔第二部〕イエスの生涯とメッセージ
第一部で、新約聖書成立背景の時間的・空間的全体像を手に入れることを可能とされた読者は、第二部において、キリスト教の根幹であるイエスの物語とそのメッセージの考察へと導かれる。この考察は、「イエスとは誰か」という、本書結論部分の開かれた問いへとつながるのであるが、第二部では、まず史的イエスの思想と活動への接近が試みられ、次に初期教会による、イエスの復活と十字架の神学的解釈が考察される。

〔第三部〕初期キリスト教と新約聖書
第三部では、初期キリスト教成立の歴史の経緯が使徒言行

録・パウロ書簡等に基つきつつ再構成された後、新約聖書各文書の内容と特徴が概説され、これらが正典としてまとめられていった経緯が確認される。

本書の魅力は何といっても、そのバランスの良さにあるだろう。新約聖書の概説書としてのバランスの良さは言うまでもない。テーマ・関心が偏ることなく重要事項を網羅し、近年の聖書学の成果を随所に織り込みつつ、新約聖書の背景・メッセージ・成り立ちの全体像を読者が捉えることができるよう提示している。関連個所に挿入された、全体で五五の「コラム」は、入門の域を超える更なる興味深いテーマへと読者を誘う。それに加え、実践神学を専門とし、礼拝・信仰の現場と結びついた著者の視点と豊富な経験が、本書に「概説書」を超える深さと広がりを与えている。

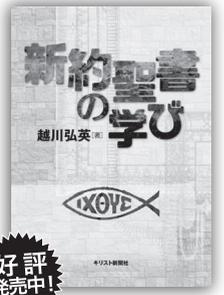
新約聖書の全体像を捉えることを得た読者は、最後に「イエスとは誰か」との問いの前に立たされる。これは各人への

開かれた問いであると同時に、著者は「イエスと私たちの出会いは絶えずそして繰り返し、福音書におけるイエスとの出会いからスタートする」と言い、私たちに再び、そして何度でも、聖書の言葉との対話へと戻っていくことを促す。そして本書の中で、著者は既に「旧約聖書の知者が語り、古代の詩人が語り、イエスが言葉と行動で指示した真理」を「誰もが知っている、平和で温かい交わりから生まれる幸せという真理」と明言していた。そして「子どもでも分かるこの真理に、しかし、二一世紀の現在を生きる私たち人類はまだ到達していない」と。本書は、聖書の世界と現在の読者とをつなぐ導きの書となり得るだろう。

（おざわ・かおり）同志社大学研究開発推進機構・神学部特別任用助教
（A5判・三〇八頁・本体二〇〇〇円＋税・キリスト新聞社）

キリスト新聞社の本
Kirisuto Shimbun, Co., Ltd.

これでわかる!
新約聖書の基礎知識



好評
発売中!

新約聖書の
学び 越川弘英著

キリスト教理解への一助となる、聖書への道案内。本書は新約聖書を初めて手にする方々を対象とする入門書である。 ■A5判・308頁・2,000円

佐藤優氏推薦!



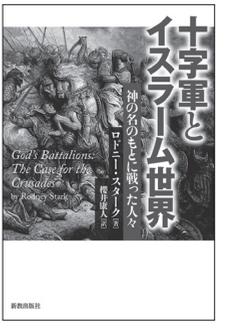
好評
発売中!

アメリカ映画と
キリスト教
120年の
関係史 木谷佳楠著
あの名作映画に隠されていた、キリスト教の影響とは!?
■A5判・212頁・1,600円

キリスト新聞社 since 1946
〒162-0814 東京都新宿区新小川町 9-1
TEL. 03-5579-2432
FAX. 03-5579-2433 (価格は税別)
E-Mail. support@kirishin.com
URL. http://www.kirishin.com

従来の十字軍像を刷新する力作
ロドニー・スターク著
櫻井康人訳

十字軍とイスラーム世界 神の名のもとに戦った人々



関沼耕平

「十字軍は悪いことですよね」。学会のポスターセッションで何度かそういった質問を受けた経験がある。残念ながら、今日の日本においては「十字軍は侵略者」というイメージが未だに払拭されていない。だが、十字軍に赴いたキリスト教徒たちは、欲望ではなく、彼らの正義のために聖地を取り返そうとしていたのである。かつての十字軍像は、本書によって大幅に刷新される。

著者のロドニー・スタークは歴史学者ではなく、宗教学者である。そのため、史料を用いた議論がなされていないことが本書の評価を難しいものになっている。しかし、本書は主だった二〇〇〇年代までの二次文献を参照し、近年の研究動向の成果を十分に反映している。二〇世紀前半までの研究は、当時の植民地政策に照らして、十字軍を「植民活動」とする言説が数多く存在していた。本書はそれらを否定し、新たな知見を我々に提示する。

第一章から第三章まではキリスト教世界とイスラーム世界の対比を軸に論が展開される。第一章で著者は「ムスリムの侵

略」という視点から、イスラームの拡大によって、もともとキリスト教徒の土地であった場所が奪われたと論じる。この視点は、教皇ウルバヌス二世を中心とする当時のキリスト教的な世界観に近く、近年の研究を用いた斬新な切り口であると言える。第二章では、ムスリムの侵略に対するキリスト教徒の反撃を取り上げている。ノルマン人のシチリア攻略やレコンキスタがその文脈上に位置付けられているが、これには十字軍の性質のひとつである「聖戦」理念がそれらの戦いに用いられていた背景がある。これらの戦いでは、その従軍者に教皇によって贖宥が付与され、「聖戦」という性格が与えられたため、研究者はこれらの戦いを十字軍のプロトモデルと位置づけるようになった。第三章で著者は、キリスト教世界とイスラーム世界の文明を比較することで、当時のヨーロッパが暗黒時代であったという通説を否定しようとしている。著者はこの比較を通じて十字軍に勝算があったとしたようだが、それはかえって十字軍の宗教的な側面を見えづらくさせているように感じられる。第四章では巡礼が取り上げられている。ムスリムによる巡礼

の妨害を、ビザンツ帝国とトルコ人との抗争から取り上げている点は通説と同様である。だが、キリスト教徒による聖地巡礼の増加について、ジョナサン・ライリー・スミスの研究を参照しながら、いくつかの具体例を示している点は目新しいといえる。第五章では、日本では十分に紹介されていない研究が用いられて、クレルモン公会議から始まる十字軍士召集の詳細が考察されている。特に「十字軍参加志願者のネットワーク」の節においては、先述のライリー・スミスらを中心とする十字軍士の家系研究を紹介している。それは、十字軍に赴く者たちが修道院で記録した遺言書などを読み解くことで、十字軍従軍者間の主従関係や縁戚関係を明らかにしようとするものである。また「旅費の財源」の節においても、十字軍従軍者たちの資金が彼らの年収の四〜五倍だったとするライリー・スミスの説が取り上げられている。十字軍召集の呼びかけに応じなかった大部分のフランク人騎士たちに対し、十字軍に赴いた者たちは敬虔な理想に燃えて聖地を目指したのである。この第五章は、現代の

通説を覆す新たな知見に満ちており、本書における著者の主張を強く裏付けている。以上を議論の前提として、第六章から終章にわたって、著者は第一回十字軍からその終結までを大胆に論じる。十字軍を後世の視点から評価するのではなく、当事者となった同時代のキリスト教徒の視点から考察し、それが単なる「侵略戦争」ではなく、信仰の理想に基づいた「聖戦」であったことを著者は描きかたつたのである。本書は、十字軍国家史や聖地巡礼史の権威である櫻井康人氏により、読みやすく、わかりやすい文章で訳されている。また同氏による巻末の解説によって、宗教学者が著した本書に欠けている内容も十分に補足されている。どうか本書を片手に、同時代のキリスト教徒たちの心情、聖地に赴いていった十字軍士の敬虔な信仰心に思いを馳せていただきたい。

(せきぬま こうへい 東京大学人文社会系研究科)
(四六判・三八四頁・本体三〇〇円＋税・新教出版社)



バルトと蕎麦の花

阪田寛夫
Hiroo Sakata



ふしぎな「元気の素」を探し求めて
雪深い山中にある教会の
クリスマス礼拝に出かける…….
人間関係に挫折し、悩みながらも、
神に近づく歌人牧師ユズルさん。

単行本化が待たれていた
秀作！

四六判・上製
定価 [本体 1,800 + 税] 円
ISBN978-4-86325-098-7



株式会社 一麦出版社
札幌市南区北ノ沢3丁目4-10
TEL (011) 578-5888
<http://www.ichibaku.co.jp>
携帯 mobile.ichibaku.co.jp

「ストレス」を自覚することから
藤掛明著

人生の後半戦とメンタルヘルス キリスト教カウンセリング講座ブックレット15



藤本満

本書は、「キリスト教カウンセリング講座ブックレット」というシリーズの一冊。著者は聖学院大学の人気教授、臨床心理士であり、描画（カラージュ）療法を得意としておられますが、教会や牧師会での講演に引つ張りだこです。

牧師を相手にした講演では、牧会心理学を講じるのではなく、牧師の自己点検に力を注いでおられます。人を牧するはずの者が、自分を牧することを怠り、自己点検もせずに「奉仕」に邁進する——この現実を批判的に否定的に語るのではなく、苦闘している牧師に寄り添ってくださるのが著者のお人柄です。根っからの「援助職」気質をお持ちなのでしょう。あるとき、筆者は著者の講演会の後で、助けを求めて話しかけたことがあります。

「最近、早朝覚醒で悩んでいます。寝入るのは問題ないので」「何か、特別な心配事や悩み事はありますか?」「特に、思い当たることはないのです」「ああ、それでは重症ですね……」

私は驚いてしまいました。そうか……。何か心配事があって目覚めてしまうというのは、健康なこと。しかし、自分を不安にさせている「ストレス」を自覚していないとしたら、重症。その淡々とした話術は、優しくもあり鋭い閃きを感じました。

そこから深まってきました私の「藤掛理論」との付き合い、これが本書に詰まっています。「頑張る人ほど危ない」「SO Sサインの恵み」「個人的な儀式を作る」、「時を待つ」「断ること」等々。

第四章の「ストレスと問題行動」では、法務省の心理技官として犯罪カウンセリングでスタートされ、その後、一般のカウンセリングへ移行した時に味わった「三つのショック」なども大変興味深く読みました。ストレスに対して「甘え・へたれ」で乗り越える人と、「強行突破」で乗り越える人の違いは明快でありながら、深く自己点検が求められる考察です。著者は、書籍や講演だけでなく、ブログ（おふいす・ふじかけ）<http://fujikake.jugem.jp/>でメッセージを発信してい

ます。そこに本書のタイトルに触れて、「人生の後半戦」とは、三五歳以降を指すと。とうの昔に折り返し地点を過ぎているのに、その意識さえもない自分がいました。

一気に読むのではなく、三十三ある小見出しを一つ一つキリストとして共に学ぶ仲間に出会えたら、人生は変わるのでしょう。本書には「語り合う」という項目もあります。随所に、聖書からの引用や結びつけ方などの的確なものもちらん、「二つの世界を見つめる」は、共にゆっくり語り合いたい項目です。

本書のくす玉の一文。「究極のメンタルヘルス……それは今あるささやかな希望に生きるといことです。……大きな悲しみの少し脇にある小さな喜びやささやかな希望を見いだすこと」（四六頁）。

付録の「お気に入り図書」の紹介も、独断で愛着のある本を挙げてくださったとあり、興味深くうれいお感想

がありました。

こういったブックレットは、講座で使用することも多いでしょう。できれば電子版もあると良いのではないのでしょうか。（ふじもと・みつる）インマヌエル綜合伝道団代表、インマヌエル高津キリスト教会牧師

（A5判・一四〇頁・本体一五〇〇円＋税・キリスト新聞社）

キリスト新聞社の本
Kirishito Shimbun, Co., Ltd.

**キリスト教カウンセリング
講座ブックレット15**

人生の後半戦と
メンタルヘルス

藤掛明

好評
発売中!

**「人生の後半戦」としての中年期に、ストレスとどうつきあうか
人生の後半戦とメンタルヘルス**

藤掛明 ● 著 「聖学院大学准教授 臨床心理士、牧会塾非常勤講師」

人生の新しい段階でストレスは増加します。中年期への移行の際の危機こそ、人生最大の危機だといえます。聖書にふれながら、その危機を乗り越えるためのメンタルヘルスと生活管理を考えるための一冊です。

■ A5判・一四〇頁・一五〇〇円

キリスト新聞社 since 1946
〒162-0814 東京都新宿区新小川町 9-1
TEL. 03-5579-2432
FAX. 03-5579-2433 (価格は税別)
E-Mail. support@kirishin.com
URL. <http://www.kirishin.com>

日本説教史の宝 待望の復刊！
竹森満佐 一著

わが主よ、わが神よ
イエス伝講解説教集



川崎公平

説教者・竹森満佐一の名は、日本のキリスト教界に広く知られるものである。私自身、この説教者からどんなに大きな恩恵を受けたことだろうか。それだけに残念に思っていたことは、その多くの説教集が絶版になっていくことであった。このたび、教文館の配慮により、その代表的な一冊が復刊された。もともと、一九七七年にヨルダン社から刊行されたものである。今回の復刻版の帯には、加藤常昭氏の推薦文が添えられている。「本書は日本説教史の宝です。福音の真髄を知るために、どうぞ！恵みのキリストにお会いできます」。

ここであわせて紹介しなければならないのは、日と同じくして教文館から刊行された、同じく加藤常昭氏による『竹森満佐一の説教——信仰をぶつける言葉』である。その「あとがき」に、このたびの出版の経緯が記されている。「竹森牧師の説教は「退屈だ」という発言に接する機会が続いたというのである。そこで思い立って、竹森説教を共同で学ぶ機会を重ねたという。なるほどと思った。私自身同じように、竹森牧師の説教に消極的な印象を持ったことがあるからである」。

おむね二〇頁に及ぶ。メモだけで語られた説教を、音声から起こしたのである。それだけでも本書は、竹森牧師の肉声に近づいたための貴重な資料であると言える。しかし、おそらく問題はそれだけではない。加藤氏は、完全原稿を書くようになったことによつて、説教そのものも変質してしまったと見る。それに対して、それ以前の完全原稿によらない時期を「黄金時代」の説教と呼ぶ。幸いにして、本書ではその黄金時代の説教を味わうことができるというのである。

竹森説教の持つ力は、何と言っても聖書的であり、なおかつ教理的であることである。しかし他方で、聖書を淡々と説いているだけ、という批判も生んだかもしれない。確かに、自分の体験談や時事問題を直接取り上げることがほとんどない。しかしそれにもかかわらず、たいへんイメージ豊かである。何より、『わが主よ、わが神よ』という書名にも現れているように、主にイエスに対する説教者自身の愛が説教全編ににじみ出ている。

なぜ竹森説教が必ずしも高く評価されないのだろうか。私自身の体験から考えるだけでも、いくつかの理由を挙げ得る。ひとつには、これも加藤氏が指摘する点であるが、読む側の信仰の力が不足しているのかもしれない。そして、それこそ私自身の体験に根ざすことであるが、このような〈読む〉側の理解不足を補うために、竹森牧師の説教を〈聴く〉ことをお勧めしたい。幸いにして、これまた加藤氏の解説付きで、日本キリスト教団出版局より『CDで聴く日本の説教 竹森満佐一』が刊行されている。一度でよいから、竹森牧師の肉声に耳を傾けてほしい。その評価を改める人は多いと信じる。静かな声だが、迫力がある。その上で、改めて竹森牧師の説教を読み直すとき、読み取り得るものがまったく違ってくると思う。

竹森牧師の多くの説教集においては、説教一篇の長さはほぼ一〇頁弱に統一されている。加藤氏によれば、竹森牧師はもともと簡単なメモだけを用意して説教していたが、ある時期から説教の完全原稿を書くようになったらしい。それが一〇頁弱という長さなのである。けれども本書に収められている説教は、竹森説教の魅力について、「ぎくくりとさせられる」という評価を聞いたことがある。聞き手の罪を指摘する言葉が実に鋭く、また適切なのである。まさにそのようにして、聴く者は神の前に立つ経験を与えられる。私の心に残った一文を紹介する。著名な文学作品の表題を思い起こさせながら、こう言うのである。「人間には、神の沈黙の意味が、なかなか分らないものです……そして、神が沈黙しておられると考えると、人間は、本性を現わすものなのであります。われわれは、ひとが見ていないと思うと、ずいぶんでたらめなことをします。同じように、神が沈黙される、すなわち見て見ぬふりをしておられるということになると、むき出しに自分の醜さをあらわすものであります」(二八〇頁)。「神の沈黙」について、こういう言葉を、今、誰が語ってくれるだろうか。

(かわさき・こうへい) 日本基督教団鎌倉雪ノ下教会牧師 (四六判・四六六頁・本体三五〇〇円＋税・教文館)

輝け、あなたの誕生日！
私の聖書歳時記366日

「70年代への聖書歳時記」の復刊！
「わが主よ、わが神よ」の聖書歳時記として復刊！
「わが主よ、わが神よ」の聖書歳時記として復刊！

日々のお祈りのための聖書歳時記366日！
聖書通読する中で示された箇所をやさしく解説しながら、教会の友や友人、知人の誕生日を祈りつつ覚え、その日々を平安に暮らしていく。これまでにもありそうでなかったクリスチャンすべての方々に備えていただきたい座右の書。

絶賛発売中

田中光三 著
A5判上製・454頁・2800円
ISBN978-4-907486-36-5

好評発売中！
木下和好著

聖書の教える金持ち父さん 貧乏父さん50

自分を全てを神に献げ、神にゆだねて歩む人生への祝福の信仰だ。持っている人々が読むのに、変な意味あり、ビジネスプランとして友人にプレゼントとして最適！ヨベル新書 038・1,000円

株式会社ヨベル YOBEL Inc.
info@yobel.co.jp (税別)
〒113-0033 東京都文京区本郷 4-1-1
TEL03(3818)4851 FAX03(3818)4858
自費出版の専門出版社

珠玉の信仰の書
森田美千代著

真実なるものここにあり



田中かおる

本書は、森田美千代氏が約四〇年以上、キリスト者として、研究者として、教師として歩んでこられたその時々の大学や教会での礼拝奨励やスピーチ、文書、また書評などが収められている書である。それらは以下の項目にまとめられている。「留学」「緑聖教会」「聖学院大学全学礼拝(1)」「緑聖教会から聖学院教会へ」「教会学校」「梅光女学院大学短期大学部礼拝」「キリスト教教育」「森有正、M・L・キング、H・B・ストウ」「聖学院大学全学礼拝(2)」「附・私がみたアメリカ人の社会と生活ABC」、そして「はじめに」と「おわりに」である。森田氏は「学術書ではありませんので、厳密であることよりも、私の気持ちに添うことを、優先いたしました」(一一頁)と記しているが、その収められているどの文書も森田氏の率直な思いが記されている。同時にそれらは、研究者らしい深い洞察と学問的裏付けがなされた言葉でもあり、何よりも著者の「祈りの言葉」である。

本書の中で、森田氏がある本を紹介するにあたり「美しい作品が誕生した」(二二七頁)と評している。この「美しい作品

持ち続けて」(三頁)きたという。そして、やがて森田氏自身がキリスト教大学において教鞭をとり、信仰をもつて多くの学生を育ててきたことを思うと、日本でのキリスト教学校の使命を改めて再認識させられる。「真実なるものここにあり」(五頁、三五頁)と学生の時に出会ったキリスト教への信頼、神への信頼が決して揺らがなかったことは、ずっしりと伝わってくる。それは、「真実なもの」には裏切られなかった、という著者の証に他ならない(二四―二五頁、二八―二九頁等)。

また、森田氏においては、「教会とキリスト教学校は車の両輪」(四頁、一九四頁)という視点が明確である。アメリカ留学において気付かされたことは、アメリカでは「教会を離れたところでキリスト教教育は存在しえないと考えられている」(一三四頁)、ということ。しかし、日本では「教会と結びつかないところで、あるいは教会と結びつかないでも、キリスト教教育は可能であると考え、キリスト教教育をしているのではないか」(二三四頁)と指摘する。そういう日本の現状において、著者

「美しい本」(二一九頁)は、本書のキーワードである。信仰書であってもそれは「美しいもの」でなければならぬ、という思いが著者の根底にある。では、「美しさ」とは何か。それを考えるヒントを「留学」の項で語っている。一つは、留学先のキャンパスで目撃した裸の木々の姿から気付かされた「人間の切なる祈りの姿」(一七頁)を神御自身「深い痛みをもって応えてくださるに違いない」(一七頁)ということ。もうひとつは「節制する」(一九頁)という生き方である。著者は、その両方を通して、人間の生は「主から与えられるもの」、それを自覚してどういふふう生きるのかといえば「節制する」歩みであることが鍵となる、と考えている。そういう「人生の質」を著者は「美しさ」と言い、その「美しさ」が本書を通して伝えることを願っている。

森田氏は、国際基督教大学(ICU)において初めてキリスト教に触れ、そして同大学在学中に国際基督教大学教会で洗礼を受けた。この洗礼について「神さまと古屋安雄先生(当時の同教会牧師)に対する感謝の思いは、これまで絶えることなく自身の「教会とキリスト教学校の両方の礼拝で養われた」(五頁)という経験をもとに、キリスト教学校は教会との関係を大事にしてほしいという願いが本書には滲み出ている(五七頁等)。そして、この本書をぜひ①若い人たち、②教会の人たち、③キリスト教学校の教師たちに読んでもらいたい、という願いを讀みることが出来る。若い人たちは励ましの意を込めてそう願う、教会とキリスト教学校教師たちには、本書を通して日本の伝道、キリスト教学校の在り方について考えてもらいたい、という切なる祈りを感じる。本書には、日本の伝道やキリスト教学校再生へのヒントがたくさん散りばめられていることに気付かされる。本書を読み終えたとき、読者は、森田氏の信仰の生き様を通して、神の深い「励まし」が寄せてくるのを覚えずにいられないであろう。

(たなか・かおる 日本基督教団安行教会牧師)
(四六判・二三三頁・本体二〇〇円＋税・創言社)

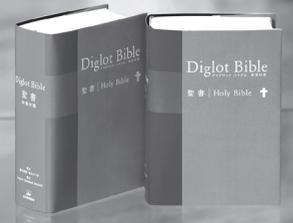
新しい
和英対照聖書が
できました。

日本語訳と英語訳の
理想的組み合わせ

総ルビ 和英対照聖書

ダイグロット
バイブル

Diglot Bible



English Standard Version
聖書 新共同訳 総ルビ

① 欽定訳の伝統を引き継ぐ、
原典に忠実かつ格調が高い
全世界で急速に愛読者が増えている、
必読の英語訳「ESV」

② カトリックとプロテスタント諸教会、
全国のミッションスクールで、
圧倒的シェアを誇る「聖書 新共同訳」

●B6判 ●旧新約・3,120頁
●本文：約8ポイント ●総ルビ
●巻末カラー地図(日本語英語各7葉)つき
定価(本体6,300円＋税)

NIESV54DI ピンク
ISBN978-4-8202-1334-5

NIESV54DI ブルー
ISBN978-4-8202-1335-2

お求めはお近くの書店または

JBS 日本聖書協会
〒104-0061 東京都中央区銀座4-5-1 聖書館ビル
TEL03-3567-1987 http://www.bible.or.jp/

復活と十字架を「もっと深く、強く、新しく！」

説教黙想アレテア 特別増刊号

見よ、この方を！
今、復活と十字架をいかに語るか



荒瀬牧彦

評者は、保育園の礼拝で月に一度聖書の話をしている。つい先日「イエス様の十字架」の話をした。福音書から語る一年の最後の二回は十字架と復活にするのだが、ここが一番難しい。今回は特に何の工夫もせず、十字架の上の主イエスの言葉と、その下にいる人間たちの姿を静かに話した。いつもは眠そうな子や落ち着かない子が何人かいるのだが、この日は全員が目を見開いて、真剣な顔で聞き入ってくれた。十字架の言葉が幼な子の心に響いている。不思議な感動を覚える礼拝だった。

他方、某短大でのキリスト教の授業ではこんな経験もする。聖書の復活記事を読み、「(主はよみがえられた!)」という叫びからすべては始まったのだ」と話した。評者自身の復活信仰をまじえ、講義というより説教の調子で、情熱をこめて説得的に語ったつもりだった。授業の後、聖書に関心を持ちいつも良い応答をしてくる学生が、苦笑して心底あきれたという口調で言った。「本当にこんなこと信じてるんですか?」。アテネ伝道の挫折で打ちひしがれたパウロのような気分です。十字架と復活の説教は難しい。もちろん、それは説教者にと

やポップカルチャーを通して語る可能性(第4部)、黙想から説教への実践(第5部)と、実に豊かな内容である。評者は、この一冊により、「もっと深く、もっと強く、もっと新しく語れるよ」と刺激を与えてくれる得難い同志を与えられた思いである。

普段『説教黙想アレテア』に触れていない人や、ある種のアレギーを感じてきた人は、まず第5部を読むことをお勧めする。本誌編集主任・加藤常昭氏の示す「説教への道」の線で、聖書(第一のテキスト)から会衆の聴取(第七のテキスト)に至るプロセスを平野克己氏が実際に示してくれていて、これを辿ると「説教黙想」の用い方がよくわかる。特に教えられるのが、良い黙想や説教を精読することの意義である。「自分の説教がひきずられてしまうから、他の説教集や黙想集を読まない」という人がいる。しかし、その人は勘違いをしている。説教とは、他の説教者との優劣を競い合うことではない。他の説教者たち

って最大の山場である。これをこそ伝えたいという決戦の場である。しかしそれだけに、力みすぎて言葉が上滑りし、空回りの説教になってしまうことも多い。「神の言葉は出来事を起こす」と意気込みながら、神学者からの借り物のような硬直した言葉の羅列が、聴く者の心を遠く冷たくするような説教。それに、説教者としての年数を重ねれば同じ聴き手に同じ箇所から幾度も説教をするという難題が待っている。聖書は読む度に異なる響きを立てるはずなのに、実は同じことの繰り返しから抜け出せていない自分にうんざりする説教者。本誌に、「説教の聴き手として」という視点からの原稿を寄せているデビット・ゾペティ氏が指摘するように、「(麻痺した説教)や(心の籠っていない説教)も決して少なくない」。

復活と十字架(この順序が重要!)に焦点を絞った本誌は、苦闘する説教者のために、様々な教派からの牧師や神学者また芸術の専門家が、惜しみなく知恵と力を授けてくれる一冊である。説教黙想(第2部)だけでなく、「いかに語るか」(第1部)、生きる困難の中で知った十字架と復活のリアリティ(第3部)、文学とともに一つの教会に仕える、共同のわざである」。まさに然指すためには欠かせない。

「説教黙想」のルーツが、ヒトラー政権に抗しバルメン宣言に立ったドイツ告白教会にあるという確認も重要である。「説教黙想は、世の力に対する信仰の戦いとしてスタートした」のである。教会は、この世の混乱と危機の中でこそ、キリストを明確に告白する説教を発信していく責任がある。黙想は、心の慰めを求める個々の信徒だけでなく、経済力と軍勢力という偶像に蹂躪されているこの世界も視野に入れるべきものだろう。十字架と復活はそこに何を告げるか。これは本号が十分に踏み込んでいないが、しかし全説教者に求められている課題である。(あらせ・まきひこ)カンパウンド長老キリスト教会めぐみ教会牧師、日本聖書神学校教授

(B6判・二二八頁・本体一八五二円+税・日本キリスト教団出版局)

A・グリューン 村椿嘉信訳 私たちはすでに従順になっている

従順という心の病

話題沸騰中!



従順の問題点! 従順であるとは、「他者の意志への屈服」である。この場合、他者は、被抑圧者に対して、「権力」を行使している。この抑圧は、乳児期に、つまり言語や思考を身につける以前に始まる。…最終的に、自分で考え、自分で判断することを不可能にする。現代に巣くう従順にメスを入れる話題作! ●八〇〇円+税

アルノ・グリューン 村椿嘉信・松田眞理子共訳

私は戦争のない世界を望む



富田正樹氏・評「なぜ戦争が起こるのか」「どうすれば戦争を避けることができるか」「戦争や暴力を容認する文化や人間の深層にあるものを心理学的に分析し」「なぜ戦争を企てる政治家が現れるのか」、また「なぜ自分は自由で民主的だと思った一般市民が戦争を企てる野心家を指示してしまうのか」について説明し、戦争をやめるためにはどうすればいいかを考えている本です。 ●四六五判・一九六頁・九〇〇円+税

株式会社ヨベル YOBEL Inc.
お問合せは info@yobel.co.jp
〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-1
TEL03(3818)4851 FAX03(3818)4858
*自費出版の専門出版社*資料・呈

本屋さんを選んだ お勧めの本

京都ヨルダン社 田中宗一

『人生の後半戦と メンタルヘルス』

藤掛明著



1,500円+税
キリスト新聞社

を迎える人の助けになる本です。更にそういった変化をはじめ、様々なストレスを忙しさで解決しようとする頑張り過ぎる人のための本でもあります。

昨年は過労自殺のニュースが世間を騒がしました。私たちキリスト教書店の書店員も、ともすれば神様のことを考える暇もない程忙しくなります。忙しければ忙しい程、視野が狭まり、周囲が見えなくなる悪循環が起こります。

本書は、自分ではわかっているつもりで、普段意識しないでいること（そして忘れてしまうこと）を気づかせてくれる一冊です。矛盾した表現ですが、本を読む暇がない程忙しい人にこそ読んでいただきたいと思えます。

キリスト新聞社から刊行されている、「キリスト教カウンセリング講座ブックレットシリーズ」の最新刊です。

タイトルは「人生の後半戦」となっていますが、高年齢を意味するものではありません。拡張・発展していく生き方という前半戦から、老いと死を見据えた生き方の後半戦へという人生の質的な変換のタイミングを言っていますので、中年以降という意味合いの言葉です。（もちろん、人によって開始年齢に差があるのは本文中にも書いてあります）。

年齢を重ねていくと、好む好まざるに関わらず、自覚的・無自覚的に人生の質が変わっていきますが、その時

キリスト教書店 ハレルヤ 山本正明

『キリシタン大名高山 右近とその時代』

川村信三著



2,700円+税
教文館

今年、カトリック教会が福者に列福する高山右近を知る1冊として、手に取って読み始め、思わず引き込まれてしまいました。それは金沢時代の高山右近に魅かれるところがあり、帯の中に証伝と書かれていたからで、何か新しい発見があるかも知れないとの思いからでした。戦国時代、九州の身近な長崎、島原に右近の足跡があり、彼の信仰に思い巡らす機会もあります。日本のキリ

スト教布教初期の人間関係と、布教と、彼が目指した理想世界と戦国時代の相克など、今までは違う視点から高山右近の祈りと黙想の生涯を知る1冊となることでしょう。御一読をお勧めいたします。

キリスト教書ハレルヤ
〒862-0997 熊本市中央区大江4-20-23
TEL: 096-37213503 (FAX 同)
E-mail: khalerya@bible.or.jp



キリスト教書総目録 2017年版

宗教改革500年記念特集

巻頭マセイ 森田安氏 深井智朗氏

総記・年鑑(辞事)典 図説年表/全集(著作集) 叢書・講座/聖書/聖書学/神学/宗教哲学 思想倫理/伝記(ライクシヨ) 信仰/入門書 人生論 説教集/文学小説 評論/マセイ 詩 劇 音楽 美術 建築/教育保育 心理 社会福祉/児童 絵本/讃美歌 式文/DVD CD カセット ビデオ/キリスト教関連雑誌・新聞 書名索引/著者索引/掲載出版社名簿

■ A5判 一般頒価1冊286円+税 送料250円
■ お近くの書店様でお求めください。

キリスト教書総目録刊行会
事務局 〒162-8710 東京都新宿区
東五軒町6-24 トーハンビル内
TEL.03-3266-9521

| 書店名 | 郵便番号 | 住所 | 電話 | ファックス | URL | メール | 郵便振替 |
|-----------------|----------|----------------------------------|--------------|--------------|--|------------------------------|---------------|
| 北海道キリスト教書店 | 060-0807 | 札幌市北区北七条西6丁目 | 011-737-1721 | 011-747-5979 | http://www.jp-shop.com | sasaki@jp-shop.com | 02770-2-56520 |
| 善隣館書店 | 020-0025 | 盛岡市大沢川原3-2-37 | 019-654-1216 | 共用 | http://www7.ocn.ne.jp/~zen-book/ | zenrifkan_syoten@yahoo.co.jp | 02350-0-874 |
| 仙台キリスト教書店 | 980-0012 | 仙台市青葉区3-6-2 仙台駅前136 教団センター・IT71F | 022-223-2736 | 共用 | http://www7.ocn.ne.jp/~zen-book/ | fcqwks24@ybb.ne.jp | 02230-0-31152 |
| 恵泉書房 | 260-0021 | 〒新中延町5-2 千原カリスセンタービル | 043-238-1224 | 043-247-3072 | http://www.kyobunkwan.co.jp | keisen@vesta.ocn.ne.jp | 00120-9-43619 |
| 教文館 | 104-0061 | 東京都中央区銀座4-5-1 | 03-3561-8448 | 03-3563-1288 | http://www.kyobunkwan.co.jp | xbooks@kyobunkwan.co.jp | 00120-2-11357 |
| 聖公書店 | 350-1331 | 埼玉県狭山市新狭山1-5-1 | 042-900-2771 | 042-900-2722 | http://www.kyobunkwan.co.jp | seikoshoten@bible.or.jp | |
| アバコ・ブックセンター | 169-0051 | 東京都新宿区西早稲田2-3-18 | 03-3203-4121 | 03-3203-4186 | http://www.avaco.info | avaco@avaco.info | 00130-0-96398 |
| 待農堂 | 167-0053 | 東京都杉並区西荻南3-16-1 | 03-3333-5778 | 03-3333-6378 | http://taishindo@icom.home.ne.jp | taishindo@icom.home.ne.jp | 00110-8-95827 |
| バイブルハウス青山 | 107-0062 | 東京都港区南青山5-10-2 | 03-6418-5230 | 03-6418-5231 | biblehouse@bible.or.jp | biblehouse@bible.or.jp | |
| 横浜キリスト教書店 | 231-0063 | 横浜市中区花咲町3-96 | 045-241-3820 | 045-241-5881 | http://www7.biglobe.ne.jp/~yohatana.cbs/index.html | sksch@mva.biglobe.ne.jp | 00250-4-2512 |
| 清光書店 | 951-8114 | 新潟市宮所通一番町313 | 025-229-0656 | 共用 | http://www7.biglobe.ne.jp/~yohatana.cbs/index.html | sksch@mva.biglobe.ne.jp | 00560-8-51419 |
| 静岡聖文舎 | 420-0866 | 静岡市葵区西草深町20-26 | 054-260-6644 | 054-260-5612 | info@s-seibun.co.jp | info@s-seibun.co.jp | 00810-8-26558 |
| 名古屋聖文舎 | 464-0850 | 名古屋市千種区今池5-28-4 | 052-741-2416 | 052-733-2648 | http://homepage3.nifty.com/seibunsta/ | nagoya-seibunsta@nifty.com | 00810-5-14073 |
| 京都ヨルダン社 | 602-0854 | 京都市上京区荒神口通河原町東1-15 | 075-211-6675 | 075-211-2834 | kiordan@mbox.kyoto-net.or.jp | kiordan@mbox.kyoto-net.or.jp | 01010-2-594 |
| 大阪キリスト教書店 | 530-0002 | 大阪市北区曾根崎新地2-1-15 | 06-6345-2928 | 06-6345-2187 | http://osakacbs.web.fc2.com/ | ochrbook@river.ocn.ne.jp | 00990-3-43009 |
| バイブルハウスびぶるの森 | 591-8041 | 堺市北区東雲東町1-1-16 | 072-257-0909 | 072-253-6132 | http://osakacbs.web.fc2.com/ | ochrbook@river.ocn.ne.jp | 00990-3-43009 |
| 神戸キリスト教書店 | 650-0021 | 神戸市中央区三宮町3-9-18三陽ビル2F | 078-331-7569 | 078-331-9933 | http://www7.biglobe.ne.jp/~yohatana.cbs/index.html | sksch@mva.biglobe.ne.jp | 00960-9-47426 |
| 広島聖文舎 | 730-0841 | 広島市中区舟入町12-7 | 082-208-0022 | 082-208-0177 | hseibun0951@yahoo.co.jp | hseibun0951@yahoo.co.jp | 01150-7-45120 |
| 徳島キリスト教書店 | 770-0052 | 徳島市中島町3-57-1 | 088-633-6335 | 共用 | http://www6.ocn.ne.jp/~tcs/ | tokushoten@shirt.ocn.ne.jp | 01360-4-1958 |
| 松山キリスト教書店 | 790-0804 | 松山市中一丁目1-23 | 089-921-5519 | 089-921-5413 | http://www.geocities.jp/matsujama_1007/index.htm | sksch@dokidoki.ne.jp | 01650-1-2120 |
| 北九州キリスト教ブックセンター | 802-0022 | 北九州小倉北区上雷野5-2-18 | 093-967-0321 | 共用 | http://kcbook.net/ | kcbookcenter@ybb.ne.jp | 01780-4-39965 |
| 新生館 | 810-0073 | 福岡市中央区舞鶴2-7-7 | 092-712-6123 | 092-781-5484 | http://www7.biglobe.ne.jp/~yohatana.cbs/index.html | sksch@mva.biglobe.ne.jp | 01750-5-10932 |
| キリスト教書店ハレルヤ | 862-0971 | 熊本市大江4-20-23 | 096-372-3503 | 共用 | http://www.okinawacbs.com/ | okinawacbs@yahoo.co.jp | 017304-45044 |
| 沖縄キリスト教書店 | 903-0207 | 中環区西原字線777 沖縄キリスト教団 | 098-943-7221 | 共用 | http://www.okinawacbs.com/ | okinawacbs@yahoo.co.jp | 020308-1283 |

※一般書店関係の方は 日キ販営業部 TEL 03-3260-5670 にご連絡ください。

既刊案内 (2016年12月～2017年1月) (定価はすべて本体価格+税)

| 編・著・訳者 | 書名 | 判型 | 頁 | 本体価格 | 版元 | 発行日 |
|--------------------------------------|---|-----|------|--------|-------------|-------|
| 西原廉太 | 聖公会が大切にしてきたもの | 四六 | 100 | 1,200 | 教文館 | 12/20 |
| 川島貞雄 | 聖書における食物規定 —イエスを中心として | A 5 | 340 | 3,500 | 〃 | 12/25 |
| 澤村雅史 | 福音書記者マタイの正体 —その執筆意図と自己理解 | A 5 | 194 | 2,000 | 日本キリスト教団出版局 | 12/8 |
| 井上洋治 著 山根道公編・解題 若松英輔解説 | 井上洋治著作選集6 人はなぜ生きるか イエスのまな ざし—日本人とキリスト教(抄) | A 5 | 250 | 2,500 | 〃 | 12/20 |
| ハインツ・クルーゼ著 雨宮慧監修、佐久間 勤増補、仲田達男編 | 旧約聖書ヘブライ語文法書 —旧約聖書を読むために | A 5 | 290 | 3,000 | キリスト新聞社 | 12/7 |
| 木谷佳楠 | アメリカ映画とキリスト教 —120年の関係史 | A 5 | 206 | 1,600 | 〃 | 12/19 |
| 越川弘英 | 新約聖書の学び | A 5 | 308 | 2,000 | 〃 | 12/19 |
| 平山澄江 | イエス・キリストの 系図を彩る女性たち | 新書 | 120 | 1,000 | 〃 | 12/25 |
| 田中光三 | 私の聖書歳時記366日 —輝けあなたの誕生日 | A 5 | 454 | 2,800 | ヨベル | 12/25 |
| E. A. リン ングストン 木寺廉太 | オックスフォード キリスト教辞典 | A 5 | 1018 | 12,000 | 教文館 | 1/20 |
| 藤本朝巳 | 松居直と絵本づくり | 四六 | 240 | 1,800 | 〃 | 1/30 |
| W. カスパー 高柳俊一 著 訳 | マルティン・ルター —エキュメニズムの視点から | B 6 | 104 | 1,400 | 〃 | 1/30 |
| エイレナイオス 著 大貫隆 訳 | キリスト教教父著作集2/1 エイレナイオス1 異端反駁1 | A 5 | 194 | 3,400 | 〃 | 1/30 |
| 長島正・津子 著 長島世津子 著 | 結婚と家族の絆 —キリスト教人間学の視点から | A 5 | 320 | 2,700 | 〃 | 1/30 |
| 魯恩碩 | 旧約文書の成立背景を問う —共存を求めるユダヤ共同体 | A 5 | 400 | 4,000 | 日本キリスト教団出版局 | 1/25 |
| 永本哲也・早川朝子・ 猪刈由紀・山本大丙編 | 旅する教会 —再洗礼派と宗教改革 | 四六 | 302 | 2,800 | 新教出版社 | 1/25 |
| 東海林昭雄編 | 信仰の醍醐味 —朝禱会証し集2 | 四六 | 254 | 1,400 | キリスト新聞社 | 1/25 |

福音と世界

2017年4月号

特集 結婚の変容——宗教改革500年④

寄稿者 村上みか、小田部進一、菊地純子、

澤村雅史、水野宏、桑野萌

書評・モルトマン『希望の倫理』 小原克博

映画評 『沈黙—サイレンス—』 塚本潤一

好評連載 『聖書とわたし』(町田康)、アメリカの

教会と神学の今(吉松純)、現代神学の冒険(芦

名定道)、レヴィナスの時間論(内田樹)、第一

テモテ書(辻学)、詩篇(月本昭男) ほか

A5判・本体588円・〒70円

定期購読についてはお気軽にご相談下さい。

新教出版社 TEL: 03-3260-6148

Email: sales@shinkyo-pb.com

編集室から

一月に急な発熱が続き臥せていたが、四十度を越えた時点で一九番、生まれて初めて救急車に乗り、生まれて初めての入院となった。インフルエンザによる感染症が悪化したらしい。抗生物質を四日間投与し、何とか一週間で退院することができた。ただ発熱による体力の消耗は凄く、筋肉がすっかり落ちてしまった。

この間、病室は大部屋。苦痛に苛まれながらも、さまざまなた験をした。命にかかわる手術を受ける人(家族とのヒソヒソ話)が聞こえてしまう、「痛くないと言ったじゃないか!」と医師に文句を言う人、排泄のたびに大声で喚く人。皆、明日の自分である。カーテン一枚隔てて寝ていた隣人は、ある臓器を全

摘出するという。告知された時の気持ちはどうだったのか、入院する際の心構えはどうだったのか、夜中に目覚めた時、どう思うのだろうか、そんなことを考えながら祈っていた。消灯後は電氣をつけられないので「聖書」が読めない。み言葉を暗記していない自分が情けなかった。

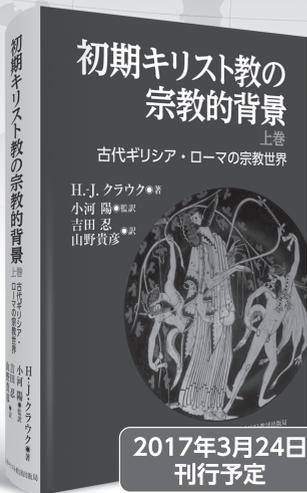
信仰は自分の病いや老いや死を背景にしたとき試される。若い頃は、体にばい菌が入っても白血球が闘ってくれたのに、体の衰えによって免疫が効かなくなる。その現実をじかに体験した。また自分が入院患者になって、病人に対する思いやりも身につけることができた。妻は「神罰が下ったのよ」と言う。そうかも知れない。み言葉の暗記と、「聖書」暗唱への渴望は、神のご催促となった。(寺田)

本のひろば 2017年5月号 予告

本・批評と紹介・永本哲也他編『旅する教会——再洗礼派と宗教改革』、魯恩碩著『旧約文書の成立背景を問う』、岡崎 晃著『語りつづけた言葉』、木谷佳楠著『アメリカ映画とキリスト教』、ハインツ・クルーゼ著『旧約聖書へブライ語文法書』、スハ・ラツサム著『イラクのキリスト教』 ほか

キリスト教誕生当時における、周辺世界の宗教・哲学・習俗を詳説

初期キリスト教の宗教的背景



古代ギリシア・ ローマの宗教世界

上巻

H.-J. クラウク

小河 陽 監訳 吉田 忍 / 山野貴彦 訳

新約聖書を理解するには、同時代のギリシア・ローマ世界の宗教事情を知ることが不可欠である。当時の庶民がどのような宗教的日常を送り、宗教に何を期待していたか、史料を基に生き生きと描く。ドイツ語圏、英語圏で高い評価を得ている世界的名著、待望の翻訳。

◆A5判 上製・354頁・5,400円

推薦のことば

廣石 望

立教大学文学部教授
日本聖書学研究所所長



そうだったのか! のギリシア・ローマ宗教史

最初にキリスト教のメッセージに接した人々は、マルチな宗教文化の中で生きていました。犠牲を捧げ、死者を祀り、秘密の儀式を行い、神託を伺い、支配者を崇拜し……。当時の宗教世界への最良のガイド・ブックです。

神のいつくしみ 苦しみあわれむ愛

2016年上智大学神学部夏期神学講習会講演集

片山はるひ / 高山貞美 編著

暴力がはびこり、苦悩する人々の叫びが響きわたるこの現代世界にあって、どのようにいつくしみにあふれる神の愛を知り、伝えていけるのか。聖書、神学、霊性といった観点から考察した論文6本を収録。 ◆四六判 並製・170頁・1,944円



神のいつくしみ
苦しみあわれむ愛
2016年上智大学神学部
夏期神学講習会講演集
片山はるひ 高山貞美 編著

2017年
3月24日
刊行予定

011-833-1111

戦時下のキリスト教主義学校

樽松かほる／大島宏／高瀬幸恵
柴沼真／影山礼子／辻直人



国家の教育統制に対してキリスト教主義学校はどのように対峙したのか？ 多様な実態を比較・検討し、二方向的な抑圧や追従といった固定的な歴史観を再考する共同研究。

● A5判・222頁・本体3,700円

ロシア中世教会史

J・フエンネル 宮野裕訳

ルーシの時代から、教会がコンスタンティノープル総主教座を離れロシア正教会として自立するまでを描く。中世ロシアの宗教文化と政治風土の理解に最適な通史。

● A5判 388頁・本体5,000円

キリストは甦られた

R・ランダウ編 野崎卓道訳

20世紀のドイツ語圏を代表する牧師・神学者（バルト、トゥルンアイゼン、イーヴァント、ユンゲル、シュタイガーほか）によるレントとイースターの説教28篇を収録。『光の降誕祭』の姉妹編。

● 四六判・352頁・本体3,200円

コンパクト 聖書注解 コリント人への第二の手紙 I

H・W・ホーランドル 池永倫明訳

いかに聖書の告げる正義と公平を實踐するかを問い、その特徴を明らかにする。三分冊の第二巻目。

● 四六判・276頁・本体3,500円

宗教と対話

多文化共生社会の中で

小原克博／勝又悦子編 ● 四六判 300頁・本体3,000円

現代において目指すべき多文化共存の形とは？ 諸宗教の歴史や実態を報告し、今日的課題に多角的視点から取り組んだ研究成果。

ウエスレー思想と近代

清水光雄

神学・科学・哲学を問う

幅広い学問から知を構築し、相反する視点と共存したウエスレーの宗教観に迫る。

● A5判 460頁・本体3,000円

3月の新刊 (価格表示は税抜)

罪の赦しと
永遠の命がここに!



一九五七年七月一日 第三種郵便物認可
二〇一七年四月二日発行 (毎月一回一日発行)
本のひろば 第七二号 二〇一七年四月号

発行所 〒163-0814 東京都新宿区新小川町九-1 一般財団法人キリスト教文書センター
電話03-3333-1650 振替00170-511-1679
発行人 本村利春 編集人 土肥研一 印刷所 (株)平河工業社
発売所 日本キリスト教書販売株式会社 電話03-3360-1567

定価七八円 (税抜七二円) (〒62円)
一年分一三〇〇円 (送料共)



教文館

〒104-0061 東京都中央区銀座4-5-1 TEL03-3561-5549 (出版部)
本のご注文は (e-shop 教文館) へ! <http://shop-kyobunkwan.com/>

e-shop 教文館